



令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(珠洲市) 立 (宝立小中) 学校

GIGA校内研修推進リーダー (野口 幹太)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

| 成果 | 課題 |
|---|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ふるさと珠洲科学習発表会において、全ての学年が発達段階に応じてICT機器の使い方を工夫し、発表を行うことができた。 ・ICT機器を用いた成果発表の場として、既存の行事を活用することで、教員の負担をあまり増やすことなく、実践に取り組むことができた。 ・「若手教員による「GIGA校内研修」を実施することにより、操作方法やアプリの使い方についての質問を誰に行うとよいか明確になり、ICT機器を効果的に使用できる教員が増加した。 ・本校の実践例の共有だけでなく、他校の実践例を動画視聴により共有することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学校全体での成果物を共有の簡略化について学び、成果物を蓄積する方法を確立する必要がある。 ・chromebookの使用のルールについて、準備が不十分であり、トラブルが起きてから対処することが多かった。 |

校内研修のアイデア

- ・各ブロックの到達目標を設定し、各ブロックで実践案を出し合う。
- ・毎月ブロック長会議を設けて、各ブロックの実践や進捗状況を共有する。
- ・総合的な学習の時間(ふるさと珠洲科)の探究学習に効果的に活用する。また、この活用を基軸として、共通実践を図り、各教科に広げる。
- ・校内研修や、OJTを活用した実践共有(成功と失敗の経験)を行う。
- ・研究授業の際は、ICT機器の積極的な活用を呼びかける。
- ・ICTが苦手な教員に対しては、個別に端末の操作方法を教える機会をもつ。(年間を通して随時)
- ・各学年の発達段階に応じた目標を作成し、全職員で共有する。
- ・活用実践例の作成者と時期を指定する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ◆教師の目指す姿
 - ・全ての教員が、実践事例をもとに、児童生徒がICTを効果的に活用して、学習や活動に取り組む機会を計画的に設けている。
- ◆各ブロックの目指す姿
 - ・前期ブロック:キーボードを使って文字を入力し、自分の考えを文章にまとめることができる。
 - ・中期ブロック:写真や絵と文字を組み合わせてプレゼンテーションのスライドを作成し、調べたことや考えたことを発表することができる。
 - ・後期ブロック:課題や目的に応じて、これまで学んだ情報手段を適切に活用して、発信(発表)内容の評価や改善ができる。

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|------|--|--------------------------------|--------------|
| 4月 | ブロック長会議[ブロックリーダー] | ブロックリーダー | |
| 5月 | みつけウィーク(授業を相互に参観する)[個人] ブロック長会議[ブロックリーダー] | 研究 ブロックリーダー | |
| 6月 | ICT活用実践例の共有[全体] ブロック長会議[ブロックリーダー] 情報モラルについて[全体] | 推進リーダー ブロックリーダー 推進リーダー | |
| 7月 | ICT活用実践例の共有[全体] ブロック長会議[ブロックリーダー] | 推進リーダー ブロックリーダー | |
| 中間目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・前期ブロック:単語を打ち込み、目的のwebページを検索できる。 ・中期ブロック:インターネットには不適切な情報や有害な情報があることを知り、安全で正しい対処ができる。 ・後期ブロック:情報を活用することの意義を理解し、積極的に情報共有をはかることができる。 | | |
| 8月 | ICT活用実践例の共有[全体] ブロック長会議[ブロックリーダー] 著作権について[全体] | 推進リーダー ブロックリーダー 推進リーダー | |
| 9月 | みつけウィーク(授業を相互に参観する)[個人] ブロック長会議[ブロックリーダー] | 研究 ブロックリーダー | |
| 10月 | ICT活用実践例の共有[全体] ブロック長会議[ブロックリーダー] | 推進リーダー ブロックリーダー | |
| 11月 | ICT活用実践例の共有[全体] ブロック長会議[ブロックリーダー] | 推進リーダー ブロックリーダー | |
| 12月 | ICT活用実践例の共有[全体] 「ふるさと珠洲科発表会」に向けて[ブロック] ブロック長会議[ブロックリーダー] | 推進リーダー ブロックリーダー ブロックリーダー | |
| 中間目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教師:ICT機器を効果的に使用することができる。 ・前期ブロック:紙に書かれた文章をキーボードを用いて打ち込むことができる。 ・中期ブロック:写真や絵と文字を組み合わせてスライドを作成し、自分の考えを発表することができる。 ・後期ブロック:情報機器で収集した情報を選択・評価・編集し、報告や発表に利用できる。 | | |
| 1月 | みつけウィーク(授業を相互に参観する)[個人] ブロック長会議[ブロックリーダー] | 研究 ブロックリーダー | ふるさと珠洲科学習発表会 |
| 2月 | 実践のふり返りと来年度に向けて[ブロック] ブロック長会議[ブロックリーダー] | ブロックリーダー ブロックリーダー | |
| 3月 | ICT活用実践例の共有[全体] ブロック長会議[ブロックリーダー] | 推進リーダー ブロックリーダー | |

学年別の到達目標

| 学年 | 各ブロックの目標 | 中間① | 中間② | ゴール |
|-------------------|----------|--|--|--|
| 前期 ブ ロ ク | 1年生 | 1人でchromebookにパスワードを打ち込みログインすることができる。 | 教師の指示通りにタッチパネルでアプリを選択することができる。 | カメラアプリを開き、撮影までを1人で行うことができる。 |
| | 2年生 | キーボードを使って文字を入力し、自分の考えを文章にまとめることができる。 | タッチパッドを用いてアプリを選択することができる。 | 撮影した写真や、書き込んだ文字をもとに自分の考えを発表することができる。 |
| | 3年生 | chromebookの電源onとoffを1で行うことができる。 | ローマ字表を見ながら、簡単な単語をキーボードで打ち込むことができる。 | ローマ字表を見ながら、短い文を打ち込むことができる。 |
| | 4年生 | 単語を打ち込み、目的のwebページを検索できる。 | 紙に書かれた文章をキーボードを用いて打ち込むことができる。 | 自分の考えをキーボードで打ち込み、文章にまとめることができる。 |
| 中期 ブ ロ ク | 5年生 | インターネット上の画像をコピーして、貼り付けることができる。 | 複数のキーワードを組み合わせて、目的のwebページを検索することができる。 | 文字と画像を組み合わせて、調べたことを1枚のスライドにまとめることができる。 |
| | 6年生 | 写真や絵と文字を組み合わせてプレゼンテーションのスライドを作成し、調べたことや考えたことを発表することができる。 | 収集した情報を比較したり、分類したり、関連づけたりして情報の整理を行うことができる。 | 自分たちの身の回りにも情報通信技術が活用されていることを知り、生活に役立っていることを理解することができる。 |
| | 7年生 | 写真や絵と文字を組み合わせてスライドを作成し、自分の考えを発表することができる。 | インターネットには不適切な情報や有害な情報があることを知り、安全で正しい対処ができる。 | 写真や文字の大きさ、色などを工夫し、自分の考えをわかりやすく伝えることができる。 |
| 後期 ブ ロ ク | 8年生 | 課題や目的に応じて、これまで学んだ情報手段を適切に活用して、発信（発表）内容の評価や改善ができる。 | 情報通信ネットワーク利用上の基本的なルールや法律を遵守し、著作権や知的財産権を尊重することができる。 | 情報伝達のメディアの特性や、発信者から受信者までの情報伝達の過程を理解し、それを元に情報の真偽や質を吟味できる。 |
| | 9年生 | 課題や目的に応じて、これまで学んだ情報手段を適切に活用して、発信（発表）内容の評価や改善ができる。 | 情報を活用することの意義を理解し、積極的に情報共有をはかることができる。 | 情報機器で収集した情報を選択・評価・編集し、報告や発表に利用できる。 |

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(珠洲市)立(上戸小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(中谷 奈央)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

・「先ずPC端末にふれる」という目標に対し、すべての学年の児童が何らかの形でPC端末を活用、ICTを活用した学習に対し、学習意欲の向上等、肯定的な手応えを感じることが出来た。
 ・GIGA校内研修推進リーダーを中心に、研修を重ね、活用の意識を高め、学年の発達段階に応じた様々な活用法を模索することが出来た。

課題

・児童個々のスキルにやや差異があり、端末操作を行うのに必要な時間にずれが生じ、授業テンポがやや揺れることがあった。
 ・これまでの教育実践とICT活用が必ずしも一致するとは言えないこともあり、授業のどの場面で使用するのが適切か等活用法について曖昧な部分も感じられた。

校内研修のアイデア

- ・PC端末を活用した研究授業を計画的に設定、成果と課題を蓄積していく。
- ・若プロ等、様々な機会を捉えて実践の共有を図る。
 (小規模校の特性を生かし、活用場面をできる限り事前に周知、スピーディに共有出来るようにする。)
- ・授業だけでなく、委員会活動等でも積極的にPC端末等を活用する。
- ・「GIGAスクール」フォルダを作成、実践の際使用したワークシート等を入れていく。
- ・他校の先進的な実践を積極的に取り入れていく(動画や資料の閲覧)。
- ・校内でビデオ会議等を実施する。
- ・ICT支援員等外部講師を招聘した研修会を行う。
- ・GIGAサポートを活用する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- <児童>
 学年の発達段階に応じた情報モラル、端末操作スキルを身に付け、自分なりに自己の学びを高めることが出来る。
 【低学年】授業でカメラ機能・ジャムボード等、ICT機器の操作に慣れることができる。
 【中学年】ローマ字でキーボード入力し、情報検索・文書作成・プレゼンテーション作成等を行い、学習に活用できる。
 【高学年】相手意識をもって、文書作成・プレゼンテーションソフトの活用等を行い、学習にICT機器を活用できる。
- <教師>
 ICTを効果的、効率的に活用できる場面設定を行い、ICT機器の授業での活用方法を共有し、「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に充実させた学びを可能な限り実現する。

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|------|---|--------------------|---|
| 4月 | 年間計画確認[全体] 新たな授業づくり研修(R3未受講者) | 推進リーダー センター研修担当 | 4/25(月)GIGA副校長・教頭・部主事研修兼GIGA校内研修推進リーダー研修第1日 |
| 5月 | 校内研修:情報モラル教育[全体] | 推進リーダー | 5/17(火)GIGA校内研修推進リーダー研修第2日 |
| 6月 | ICTの効果的な活用<資料の効果的な提示>[若プロ] 校内研究授業(ICT活用) | 推進リーダー 研究主任 | ICTを活用した研究授業 |
| 7月 | 校内ビデオ会議(実践例紹介) ICTの効果的な活用<長期休業中の活用法①>[全体] | 推進サブリーダー 教務主任 | |
| 中間目標 | <児童> ・学年の発達段階に応じた情報モラルを理解している。 ・書くことと同レベルになるよう等端末操作スキルを高めるよう取り組む。 <教師>ICTを効果的、効率的に活用し「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に充実させた学びの実践を月1回以上行う。 | | |
| 8月 | 外部講師を招聘した研修会[全体] 前期取組の振り返り・後期取組に向けて[全体] | 教務主任 推進リーダー | |
| 9月 | 他校等先進的な実践の共有[全体] | 推進リーダー | 9/13(火)GIGA校内研修推進リーダー研修第3日 |
| 10月 | 児童の端末操作スキル向上[若プロ] 校内研究授業(ICT活用) | 推進リーダー 研究主任 | ICTを活用した研究授業 |
| 11月 | ICTの効果的な活用<児童のプレゼン能力向上>[全体] 情報モラル教育[全体] | 推進リーダー | 珠洲市SDGs報告会 珠洲市生き物観察会報告会 非行被害防止講座 |
| 12月 | ICTの効果的な活用<長期休業中の活用法②>[全体] | 推進リーダー | |
| 中間目標 | <児童> ・学年の発達段階に応じた情報モラルを理解し、自己の学習に生かしている。 ・書くことと同レベルになるよう等端末操作スキルを高める。 <教師>ICTを効果的、効率的に活用し「個別最適な学び」「協働的な学び」を一体的に充実させた学びの実践例を各自2例以上蓄積している。 | | |
| 1月 | 校内ビデオ会議(実践例紹介) | 推進サブリーダー | ICTを活用した研究授業 |
| 2月 | 後期取組の振り返り・次年度取組に向けて[全体] | 推進リーダー | GIGA校内研修 実践報告提出 |
| 3月 | 次年度年間計画作成[全体] | 推進リーダー | |

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(珠洲市)立(飯田小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(水上晴貴)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

| 成果 | 課題 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 全ての学年の児童が学習用端末の基本的な操作を身につけることができた。 実践交流を行いながら、教職員同士で教え合い、全ての教員が授業の中で活用することができた。 カメラ機能や共同編集機能、ファイル共有機能を学習活動の中で活用できた。 委員会や行事などの時に、児童が自ら学習用端末を活用する姿が見られた。 長期休業中にオンラインで朝の会を行った。 臨時休業に備え、オンライン授業を試行することができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 今年度は、教員も児童も学習用端末に慣れるため積極的に活用することを主に校内研修を推進した。そのため学び合いを深めるための活用のあり方について課題がある。来年度は、授業のどの場面でもどのように活用することが効果的に焦点をあて、研修を推進する必要がある。 職員用のクラスルームと共有ドライブをさらに有効的に活用できるよう研修を推進したい。 |

校内研修のアイデア

- ・校内の研究授業のふり返りの視点の一つに「効果的なICTの活用ができていたか」を設け、ねらい達成のための活用法を考える。
- ・学期末に実践交流を行い、効果的な実践だけでなく、失敗した実践も教員間で共有する。どの場面でもどのように活用することで、より効果的になるのかを検討する。
- ・職員の共有ドライブに、各教員が授業のために準備したスライドやワークシート、児童が作成した成果物などを保存することで、職員間でいつでも実践の共有と活用ができるようにする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・児童が学習の中で、課題解決に向けて、効果的にICTを活用している。(情報をあつめる、調べる、根拠を示す、自分の考えをまとめるなど)
- ・ICTを活用し、共同編集や意見交換を通して自分とは異なる見方・考え方に触れ、考えを深めている。

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|----------|--|----------------------------|------------------------------------|
| 4月 | GIGAスクール構想と校内研修の意義について確認[全体] 動画視聴による研修(ステージ1・2・3)[個人] 年間研修計画についての確認[全体] | 管理職 管理職 推進リーダー | 4/25GIGA校内研修 推進リーダー研修 |
| 5月 | 校内研究授業(ICT活用場面の協議)[全体] 実践交流[全体] | 推進リーダー 推進リーダー | 5/17GIGA校内研修 推進リーダー研修 |
| 6月 | 校内研究授業(ICT活用場面の協議)[全体] | 推進リーダー | |
| 7月 | 実践交流[全体] | 推進リーダー | |
| 中間 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・低学年が端末の基本的な操作を習得する。 ・全児童が夏季休業中に端末を持ち帰らせ、家庭学習で活用する。 | | |
| 8月 | 1学期振り返りと2学期以降に向けて[全体] 情報モラル研修[全体] モデル校の実践動画視聴[全体] | 推進リーダー 推進リーダー 推進リーダー | |
| 9月 | 校内研究授業(ICT活用場面の協議)[全体] GIGA研修内容の報告[全体] | 推進リーダー 推進リーダー | 運動会 GIGA校内研修推進 リーダー研修 |
| 10月 | 実践交流[全体] | 推進リーダー | |
| 11月 | 校内研究授業(ICT活用場面の協議)[全体] | 推進リーダー | |
| 12月 | 実践交流[全体] 「総合的な学習の時間」の学習発表会[全体] SDGs学習報告会[全体] | 推進リーダー | 「総合的な学習の時 間」の学習発表会 SDGs学習報告会 |
| 中間 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・低学年が端末の基本的な操作を習得する。 ・全教員が学習活動の中で、効果的に端末を活用する。 | | |
| 1月 | 相互参観ウィーク[若プロ] | 若手研修 コーディネー ター | |
| 2月 | 相互参観ウィーク[全体] 実践交流[全体] | 推進リーダー 推進リーダー | GIGA校内研修推進 リーダー研修実践報 告提出 |
| 3月 | 今年度の振り返りと次年度に向けて[全体] | 推進リーダー | |

目標の達成に影響を与える現状

＋ (強み)

- ・校内のwifi環境が整っている。
- ・昨年度の実践が記録されている。
- ・児童数が少ないため、支援がしやすい。
- ・教員数が少ないため、全体研修が行いやすい。
- ・若い教員が多いため、新しいことに適応しやすい。

－ (弱み)

- ・教員数が少ないため、割り振られる仕事が多く、ICTを活用した授業の準備をする時間が少ない。

校内研修のアイデア

- ・昨年度の実践で効果的であったものを共有し、今年度の実践に生かす。
- ・推進リーダーが随時相談に乗り、各教員がICTを利用し行いたいことについて、支援する。
- ・アンケート機能を活用し、児童の学習実態を把握する。
- ・Classroomを活用して実践報告を行い、成果と課題を共有し、各教科での活用を推進する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- ・昨年度の実践を生かし、よりよくなるよう実践を積み重ね共有する。
- ・全教員が、Classroomを利用し、授業などに生かすことができる。
- ・全教員が、カメラ機能やファイル共有機能、Googleフォームを利用し、意見を集約したり、全体に広げたりすることで、対話的な学びを支援することができる。
- ・「総合的な学習の時間」の成果をデジタルベースでまとめ、発表することができる。

| 月 | 研修テーマ [研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|------|--|--------|---------|
| 4月 | 【全体研修1】 端末利用のルールについて 【全体研修2】 Classroomの活用について | 推進リーダー | |
| 5月 | 【全体研修3】 写真や動画の活用について | 推進リーダー | |
| 6月 | 【全体研修4】 Googleフォームの活用について | 推進リーダー | |
| 7月 | 【全体研修5】 実践報告 | 推進リーダー | |
| 中間目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・全担任がClassroomを授業等に活用する。 ・児童全員がルールを守って端末を使用できる。 | | |
| 8月 | 【全体研修6】 メディアリテラシーについて | 推進リーダー | |
| 9月 | 【全体研修7】 効果的なICT活用について | 推進リーダー | |
| 10月 | 【全体研修8】 モデル校の実践紹介 | 推進リーダー | |
| 11月 | 【全体研修9】 「総合的な学習の時間」でのICTの活用について | 推進リーダー | |
| 12月 | 【全体研修10】 実践報告 | 推進リーダー | |
| 中間目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・全担任が授業での記録や発表に、ICTを活用している。 ・児童の実態に応じたICTの活用ができる。 | | |
| 1月 | 【全体研修11】 「総合的な学習の時間」発表会での活用に向けて | 推進リーダー | |
| 2月 | 【全体研修12】 「総合的な学習の時間」発表会での活用に向けて | 推進リーダー | |
| 3月 | 【全体研修13】 振り返りと来年度に向けて | 推進リーダー | |

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(珠州市) 立 (若山小) 学校

GIGA校内研修推進リーダー (寺下 祐樹)

| 令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題 | |
|--|--|
| 成果 | 課題 |
| <ul style="list-style-type: none"> 職員は知識や技能を共有し、互いにレベルアップできた。 児童は学年に応じた技能を習得することができた。 家庭への持ち帰り使用やオンライン授業の準備がをし、有事の備えができた。 | <ul style="list-style-type: none"> 機器利用が苦手な職員でも活用できるシステム作り、授業スタイルを構築する必要がある。 児童が主体的に活用し、必要に応じて選択する場面はあまり見られなかった。 |

校内研修のアイデア

〈GIGA校内研修〉

・月に1回、時間を設けて協議・共通理解等を行う。テーマは右参照

〈GIGA参観授業〉

・推進リーダーを中心として、技能を伝え合うための相互参観授業を適宜行う。

授業以外にも児童の活動や、職員の校内研修など、様々な場でICTを活用し、実践の経験を共有するとともに、反省を次へとつなげていく。
例・・・Meetを使った全校集会、フォームを使ったアンケート、校内研修のペーパーレスなど。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

・若山小の授業スタイルを確立し、教員はGoogleWorkspaceを効果的に学習や活動の場面で取り入れることができる。授業の導入場面では学習課題に対する興味・関心・意欲の向上と自分の考えをしっかりと持たせるための活用、展開場面では協働で学び学習が深まるための活用、終末場面では学習をふり返り自己の学びの成長が実感できるための活用を目指す。
・児童は基本的な操作を習得し、学年に応じて授業の中で主体的に活用することができる姿を目指す。

| 月 | 研修テーマ [研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|------|--|----|---|
| 4月 | <ul style="list-style-type: none"> 年間研修計画についての共通理解 公開授業・・・推進リーダー | | <ul style="list-style-type: none"> 4/25 GIGA校内研修推進リーダー研修1日目 |
| 5月 | <ul style="list-style-type: none"> 家庭学習での活用について | | <ul style="list-style-type: none"> 5/17 GIGA校内研修推進リーダー研修2日目 |
| 6月 | <ul style="list-style-type: none"> 推進リーダー研修の還元 | | <ul style="list-style-type: none"> 6/6新たな授業づくり研修受講アンケート締切 |
| 7月 | <ul style="list-style-type: none"> 1学期の振り返り 成果と課題の共有 | | |
| 中間目標 | <ul style="list-style-type: none"> 低学年児童は個人のICT機器に触れ、慣れ親しむことができる。 中学年、高学年児童はICT機器に関する学年に応じた技能を身に付けることができる。 教員は授業の中でGoogleWorkspaceを日常的に活用できる。 | | |
| 8月 | <ul style="list-style-type: none"> 計画の修正と共通理解 | | |
| 9月 | <ul style="list-style-type: none"> 実践事例の共有 | | <ul style="list-style-type: none"> 9/13 GIGA校内研修推進リーダー研修3日目 |
| 10月 | <ul style="list-style-type: none"> 推進リーダー研修の還元 | | |
| 11月 | <ul style="list-style-type: none"> 個別相談対応 | | |
| 12月 | <ul style="list-style-type: none"> 2学期の振り返り 成果と課題の共有 | | |
| 中間目標 | <ul style="list-style-type: none"> 低学年児童はICT機器に応じた技能を身に付けることができる。 中学年以上の児童は、場面に応じたGoogleWorkspaceを活用しようとするすることができる。 教員は若山小授業スタイルをもとに、GoogleWorkspaceを日常的に活用できる。 | | |
| 1月 | <ul style="list-style-type: none"> 計画の修正と共通理解 | | |
| 2月 | <ul style="list-style-type: none"> 個別相談対応 | | <ul style="list-style-type: none"> 2/24 GIGA校内研修推進リーダー研修実践報告書締 |
| 3月 | <ul style="list-style-type: none"> 成果と課題の共有 次年度に向けて | | |

6. GIGA校内研修計画

| 昨年度までの取組からの正院小学校の現状について | |
|--|--|
| 力が身についた部分 | 高めていきたい部分 |
| 【児童】 ・委員会の発表等でICT機器を活用し、扱いに慣れてきている。 ・新4年～6年はローマ字を入力する力が向上してきている。 【教師】 ・jamboardなどのgoogleアプリを授業内で活用したことで、ICT機器の扱いになれてきている。 ・授業内に取り入れようとする意識の高まりが感じられる。 | 【児童】 ・ICT機器の扱いには個人差がある。→昨年度までの取組を継続。 ・ICT機器を自ら考えて使うという場面はあまり見られない。→活用できる場면을児童が考えられるようにする。 【教師】 ・ICT機器で使用するアプリや活用の機会を増やす。 ・どのような目的でICT機器を活用するか、目的をはっきりさせる。 |

令和4年度末に目指す姿として

- 【児童】**
- ローマ字入力において、各学年に設定した目標文字数を時間内に入力することができる。(3年…150字, 4年…200字, 5年…300字, 6年…400字)
 ※タイピングソフトを用いて1年間を通して記録を計測していく。
 - 短い文章や資料を作成することができる。
 - 学習活動などで、自ら進んでICT機器を活用しようとする態度を身につける。
 - 目的に応じてICT機器のどの機能を活用するかを考え、実行できる。
- 【教師】**
- 正院小ICTベーシックスキル表を基に活用技能の向上を図る。

目指す姿を達成するための取組

- 月に1度、アンケート(児童・教師)を実施して意識調査をするとともに、校内研修の場でICTを活用した授業実践について意見交換をする。
- タイピングソフトを用いたローマ字入力の練習を継続する。
 →スプレッドシートに記録を記入し、子ども自身が成長を実感できるようにする。
- 短い文章を入力する機会を設定する。
- 正院小ICTベーシックスキル表を作成し、活用力の視覚化を図るとともに向上に取り組む。

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

| 月 | 研修テーマ [研修形態] | 研修内容 |
|------|---|--|
| 4月 | 正院小の実態を受けての今年度の目標とそれに対する取組みについて [全体研修] | 【協議】目標と取組の共通理解を図る。 |
| 5月 | アプリケーション活用技能の向上 情報モラル教育について [全体研修] | 【実践】各アプリ機能の使い方等を共有する。 |
| 6月 | プログラミング教育について [全体研修] | 【実践】ソフトを用いて実際にプログラムを作成する。 |
| 7月 | 授業内での活用事例の共有 [全体研修] | 【協議】各学年での活用事例を共有する。 |
| 中間目標 | <児童> ○全学年…アンケートの肯定的回答70% ○高学年…ローマ字入力の目標入力数の6割程度の達成、週に1回以上、アプリケーションを活用した学習活動に取り組む ○中学年…ローマ字入力の目標入力数の6割程度の達成、週に1回以上、アプリケーションを活用した学習活動に取り組む ○低学年…学期内で1回以上ICT機器を用いた学習活動に取り組む。 | <教師> ○アンケートの肯定的回答70%以上 ○正院ICTベーシックスキルの6割達成 |
| 8月 | 1学期の取組の振り返りと2学期へ向けての確認 GIGA出前サポート事業 [全体研修] | 【協議】1学期の成果と課題を明確にし、2学期へつなげる。 |
| 9月 | 金沢星稜大学との連携 | 【実践・競技】外部講師を招き、プログラミングに関する授業を行う。 |
| 10月 | アプリケーション活用技能の向上 [全体研修] | 【実践】各アプリ機能の使い方等を共有する。 |
| 11月 | 授業内での活用事例の共有 [全体研修] | 【協議】各学年での活用事例を共有する。 |
| 12月 | 2学期の取組の振り返りと3学期へ向けての確認 [全体研修] | 【協議】2学期の成果と課題を明確にし、3学期へつなげる。 |
| 中間目標 | <児童> ○全学年…アンケートの肯定的回答80% ○高学年…ローマ字入力の目標入力数の8割程度の達成、週に2回以上、アプリケーションを活用した学習活動に取り組む ○中学年…ローマ字入力の目標入力数の8割程度の達成、週に2回以上、アプリケーションを活用した学習活動に取り組む ○低学年…週に1回以上ICT機器を用いた学習活動に取り組む | <教師> ○アンケートの肯定的回答80%以上 ○正院ICTベーシックスキルの8割達成 |
| 1月 | プログラミング教育について マイクロビットの使い方 [全体研修] | 【実践】ソフトを用いて実際にプログラムを作成する。 |
| 2月 | 授業内での活用事例の共有 [全体研修] | 【協議】各学年での活用事例を共有する。 |
| 3月 | 1年間の成果・課題についてと次年度へ向けての確認 [全体研修] | 【協議】1年間の成果と課題を明確にし、次年度へつなげる。 |

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

珠州市立蛸島小学校

GIGA校内研修推進リーダー(牛崎絢香)

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|----------|---|-----------|-----------------------|
| 4月 | 【全体】ギガスクール構想の取組, 年間研修計画の説明 【全体】年間計画の共通理解・共有フォルダの確認 | 校長 牛崎 | GIGA校内研修推進リーダー研修25日 |
| 5月 | 【全体】動画視聴研修 【部会】授業活用研修(帯タイム・授業での活用を検討) 【全体】帯タイム・授業での実践例紹介 | 牛崎 中村 | GIGA校内研修推進リーダー研修17日 |
| 6月 | 【個別】端末操作研修(実践報告書の検討) 【全体】動画視聴研修 【全体】実践事例報告会 | 牛崎 担当者 | 学習用パソコン活用実践事例報告書(市教委) |
| 7月 | 【全体】動画視聴研修 【全体】実践事例紹介 | 牛崎 担当者 | |
| 中間 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員が基本的操作を習得する。 ・児童が情報モラルに基づいて、使用の仕方を理解することができる。 ・中・高学年児童が、キーボードでローマ文字入力したり、検索機能を使って調べたりすることができる。 | | |
| 8月 | 【全体】1学期の振り返り, 実践交流会の内容検討 【全体】他校との実践交流会・動画視聴研修 【全体】2学期の実践について(9月の発表資料案の検討を含む) | 牛崎 担当者 | |
| 9月 | 【個別】端末操作研修 【全体】実践事例紹介, 実践検討会 【全体】実践報告会(発表資料を中心に) | 牛崎 担当者 | GIGA校内研修推進リーダー研修13日 |
| 10月 | 【個別】端末操作研修・端末を利用した公開授業 【全体】実践報告会・動画視聴研修 | 牛崎 担当者 | 学習用パソコン活用実践事例報告書(市教委) |
| 11月 | 【全体】実践事例報告会 | 牛崎 担当者 | |
| 12月 | 【個別】実践検討 【全体】事例報告・活用上の課題について 【全体】振り返り・3学期に向けて | 牛崎 担当者 | |
| 中間 目標 | <ul style="list-style-type: none"> ・教員が、月1回以上1人1台端末を用いて授業を行うことができる。 ・児童が、カメラ機能や付箋機能を使うことができる。 ・児童が、その他の機能について理解している。 | | |
| 1月 | 【個別】実践検討 【個別】端末を利用した公開授業 【全体】実践報告会 | 牛崎 担当者 | |
| 2月 | 【個別】端末操作研修 【全体】実践報告会 | 牛崎 担当者 | 学習用パソコン活用実践事例報告書(市教委) |
| 3月 | 【全体】振り返り・来年度に向けて 【全体】実践のまとめ | 牛崎 担当者 | |

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

| 成果 | 課題 |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・児童は基本的な操作ができるようになった。また、オフィスソフトを共有して、全員で一つのものを作り上げることができ、時間の短縮や表現力の幅が広がった。 ・教員同士で活用できそうなサイトや使い方を共有したり、個別に使い方を尋ね合ったりする等、意欲的に取り組むことができた。また、課題や教材を共有フォルダに保存し、今年度参考にできるようにしている。 | <ul style="list-style-type: none"> ・学習用パソコンの使い方や使用時間を各学年に応じて指導を工夫する必要がある。 ・教師用と児童用の端末のセキュリティのレベルが異なるため、事前に児童用端末で動作を確認する必要がある。 ・授業での活用の様子を公開したり、事例を紹介したりして、端末の効果的な活用スキルをさらに向上させる必要がある。 |

校内研修のアイデア

学校研究「問われていることに、適切に表現する力の育成」と関連させて、主体的・対話的で深い学びにつながるよう取り組む。

- ・月1回校内研修で、端末を活用した授業実践を報告し合い、成果と課題を共有する。
- ・若プロ研修でGIGAスクールライブラリを視聴したり、使用上の悩みについて情報交換したりして、操作技能の向上を図る。
- ・報告された事例に基づき、実際に操作して操作技能の習熟を図る。
- ・端末を活用した授業を公開し、授業での効果的な活用について研修を深める。
- ・授業等で、使用したワークシートやデータを共有フォルダに蓄積する。
- ・夏季休業中に隣接校と実践交流会を行う。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- 【教員】
- ・端末の基本的な操作(キーボード入力機能, カメラ機能, ファイル共有機能, コメント機能)を習得する。
 - ・カメラ機能や共有機能を利用し、意見を集約したり、全体に配布したりすることで、対話的な学びを支援することができる。
 - ・校内で「児童が1人1台端末を活用して学ぶ授業」を共有する。
- 【児童】
- ・情報モラルについて理解し、適切に使用することができる。
 - ・カメラ機能, 付箋機能を使うことができる。
 - ・中・高学年: キーボードでローマ文字入力したり、検索機能を使って調べたりすることができる。
児童が共同編集機能を使うことができる。
文書作成機能, プレゼンテーションソフトの機能を使うことができる。

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(珠州市)立(みさき小)学校

GIGA校内研修推進リーダー(坂本 慧)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

| 成果 | 課題 |
|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・月に1回情報交換を行っていたため、他学年で行われているクロームブックの活用実践について知る機会が確保されていた。 ・授業等で使用したワークシートやデータを職員共有フォルダに蓄積したことにより、参考にして再活用することが出来た。 | <ul style="list-style-type: none"> ・実践した事例について、クロームブックを使用することが有益であるかどうかについて検討することが少なかった。 |

校内研修のアイデア

- ・昨年度の実践で効果的であったものを共有し、今年度の実践に活かす。
- ・授業内で活用した事例を教師用Googleクラスルームにアップロードし、全職員で共有する。そしてそのデータを用いて研修を行い、実際に授業を行ってみたい感想を伝え、改善につなげる。
- ・研究授業で子どもの姿を撮影し、クロームブックを使用している子どもの具体的な姿を基に考察できるようにする。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

【児童】

- ・クロームブックを用いることで学習が捗る場面を自身で判断できる。

【教員】

- ・昨年度の実践を生かし、よりよくなるよう実践を積み重ね共有する。
- ・Classroomを利用し、授業などに生かすことができる。

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|----------|---|----|-----------------------------------|
| 4月 | 【全体研修1】端末利用のルールについて 【全体研修2】Googleドライブを用いた連絡帳の記入の仕方 | 坂本 | |
| 5月 | 【全体研修3】第1回GIGA校内研修推進リーダー研修の報告 | 坂本 | GIGA校内研修推進リーダー研修2022/5/17(年間計画持参) |
| 6月 | 【全体研修4】情報モラルについて | 坂本 | |
| 7月 | 【全体研修5】1学期の実践報告 | 辻 | |
| 中間 目標 | 全担任がクラスルームを授業等に活用する。 児童全員がルールを守って端末を使用する。 | | |
| 8月 | 【全体研修6】Googleフォームの活用について | 西本 | |
| 9月 | 【全体研修7】モデル校の実践紹介 | 延田 | |
| 10月 | 【全体研修8】効果的なICT活用について | 西本 | |
| 11月 | 【全体研修9】実践事例の報告・検討 | 藤田 | |
| 12月 | 【全体研修10】2学期の実践報告 | 坂本 | |
| 中間 目標 | 全担任が授業での記録や発表に、ICTを活用している。 児童の実態に応じたICTの活用ができる。 | | |
| 1月 | 【全体研修11】実践事例の報告・検討 | 田中 | |
| 2月 | 【全体研修12】実践事例の報告・検討 | 六田 | |
| 3月 | 【全体研修13】振り返りと来年度に向けて | 坂本 | |

令和4年度 GIGA校内研修 年間計画

(珠洲市) 立 (大谷小中) 学校

GIGA校内研修推進リーダー(高堂 真由美 大門 正幸)

令和3年度 GIGA校内研修の成果と課題

成果

<教員の姿>
●各教科の授業にとどまらず、各種行事の担当者が積極的にChromebookを教育活動に組み込んだことで、児童生徒と職員が共に使いながら操作方法を習得できた。

<児童生徒の姿>
●何か気になることがあれば調べたり、今まで手書きで作成していた原稿をデータとして作成したり、自発的にChromebookを使っていくという雰囲気になっている。

課題

<教員の姿>
▲教員の中でChromebookの活用状況に差がある。使うことが目的ではないが、授業に取り入れ、トライ&エラーを繰り返しながら、効果的な活用方法を探るという点では課題が残る。
▲研修時間をなかなか確保できず、当初予定していた研修計画通りに進めることができなかった。

<児童生徒の姿>
▲タイピング練習を日常的に位置づけていなかったため、Chromebookを使って意見交流をするどうしても時間がかかる。また、ローマ字を未習の前期課程の児童に対しては手書き入力や音声入力の指導を行ったが同様に時間がかかる。

校内研修のアイディア

テーマ<研修時間を確保し、短時間で教師の端末活用状況に応じた新たな発見がある校内研修にする。>

- 研修時間
 - ・月1回水曜日の朝、研修報告の時間(8:10~8:25)を利用する。
 - ※若プロ担当者と相談して日程を決める。
- 研修形態
 - ・少人数のため全体研修で行う。しかし、教師の端末活用状況に応じたねらいを達成できるようにする。
 - 【端末の活用に長けた教師】… 効果的な活用方法を理解する。
 - 【端末をあまり活用していない教師】… 活用場面や活用方法を理解する。
- 内容
 - ・学習会 … 基本的なアプリの使用方法や効果的な活用方法について、実際に端末を操作しながら学ぶ。
 - ※各学期末にニーズアンケートを取り、学習会の内容を検討する。
 - ・実践報告会 … 学習会を受けて実践した中で上手くいったことや失敗談を共有する。

目標「令和4年度末にめざすICTを活用した学びの姿」

- <教員の姿>
●全教師が各教科で、効果的にchromebookを活用した学習活動を取り入れ、授業することができる。
→classroomなどのアプリの活用場面、活用方法を理解し、目的に応じて、使用することができる。
- <児童生徒の姿>
【前期課程】
●chromebookへの文字入力方法を習得し、不便に感じることなく考えを入力し、意見交換することができる。
- 【後期課程】
●各教科の授業内で使用するジャムボードなどのアプリを教諭の手助けなしで操作し、活用することができる。
●委員会活動や各行事で自身で効果的にアプリを使用する方法を考え、活用し、活動することができる。
●meetやzoomなどのアプリの使用方法を理解し、目的に応じて活用することができる。

| 月 | 研修テーマ[研修形態] | 担当 | 関連する行事等 |
|----------|--|---------------------------|-------------------------------|
| 4月 | ・GIGA校内研修計画の作成 ・classroomの作成方法について[職員会で確認] | リーダー リーダー | ・第1回リーダー研4/25 ・第1回活用力アンケート |
| 5月 | ・classroomアプリの使用方法について[学習会] 5/25 | リーダー | ・第2回リーダー研 |
| 6月 | ・jamboardアプリの活用方法について[学習会] 6/15 | リーダー | |
| 7月 | ・classroom、jamboardアプリの活用について[実践報告会] | 前期課程教諭 後期課程教諭 ※1名ずつ | ・第2回活用力アンケート |
| 中間 目標 | 【端末をあまり活用していない教師】 classroomアプリの使用方法について理解し、活用しやすいjamboardアプリを授業で一度は実践することができる。 【端末の活用に長けた教師】 jamboardアプリの効果的な活用方法を理解し、授業で実践することができる。 | | |
| 8月 | ・1学期のchromebook活用について 2学期ニーズアンケート [学習会] | | |
| 9月 | ・スライドアプリの活用方法について[学習会] | | ・運動会 ・第3回リーダー研 |
| 10月 | ・ドキュメントアプリの活用方法について[学習会] | | |
| 11月 | ・スライド、ドキュメント、アプリの活用について[実践報告会] | 前期課程教諭 後期課程教諭 ※1名ずつ | ・文化祭 |
| 12月 | ・2学期のchromebook活用について 3学期ニーズアンケート [学習会] | | ・第3回活用力アンケート |
| 中間 目標 | 【端末をあまり活用していない教師】 スライド、ドキュメントアプリの使用方法について理解し、アプリを授業や行事における活動で一度は活用することができる。 【端末の活用に長けた教師】 スライド、ドキュメントアプリの効果的な活用方法を理解し、授業や行事における活動で効果的に活用することができる。 ・スプレッドシートアプリの活用方法について[学習会] | | |
| 1月 | | | |
| 2月 | ・meetアプリの活用方法について[学習会] | | ・第4回活用力アンケート ・実践報告会2/24 |
| 3月 | ・1年間を振り返って 来年度ニーズアンケート [学習会] | | |